

東京の観光振興策に関する意見 概要

～「世界最高の観光都市・東京」の着実な実行に向けて～

2017年7月14日
東京商工会議所

I. 基本的な考え方

- 観光は、東京の成長、地域活性化の切り札として、幅広い関連産業に経済波及効果をもたらすとともに、地域社会の価値向上に重要な役割を果たす
- 2020年大会は、世界に東京の魅力をPRする絶好の機会であり、観光資源の磨き上げ、ハード・ソフト両面のインフラ整備を加速する必要がある
- 東京は、世界最高の観光都市として更なる発展が望まれると同時に、日本各地との連携を強化し、観光振興の効果を全国へ波及させることが重要
- 目標数値・施策について進捗を毎年確認し機動的な見直しを図ることにより、観光を巡る急速な環境変化に迅速かつ的確に対応していくことが重要

II. 具体的な意見事項：今後の重点的な観光施策の展開

1. 消費拡大に向けた観光経営

観光を東京の成長を牽引する基幹産業に飛躍させるためには、地域・中小企業のインバウンド対応力の向上や観光産業人材育成による生産性向上等に加え、国内観光の活性化を図ることにより観光需要の取込を強化し、持続的な観光経営を図る必要がある

(1) 地域・中小企業のインバウンド対応力向上

- ・多言語対応の強化、生産性向上に向けたICT導入
- ・決済環境の利便性向上

(2) 観光産業を担う人材の育成と確保

- ① 外国人留学生の採用定着の促進
- ② 外国人が働きながら日本料理を学ぶための在留資格の要件緩和

(3) 宿泊施設の充実と多様化

新設更新の促進、旅館活用、健全な民泊の普及

(4) 統計の整備と観光ビッグデータの利活用促進

(5) 国内観光の活性化に向けた戦略的取組の推進

- ① 若者の旅行体験の促進
- ② 新たな旅行ニーズの掘り起こし

(6) 観光施策の推進に向けた予算拡充と実施体制強化

2. 観光都市・東京の更なる魅力向上

旅行者誘致を巡る都市間競争が激しさを増す中、観光都市・東京として更なる魅力向上を図るためには、観光の視点に立ったまちづくり、観光資源の磨き上げによる賑わい創出、新たな視点による観光資源の開発等を進めていく必要がある

(1) 観光の視点に立ったまちづくりの推進

- ① 景観の改善・保全に向けた電線類の地中化・無電柱化の推進
- ② まち歩き観光を促進する街路空間等の整備
- ③ 自転車走行空間の整備とシェアサイクルの利用促進

(2) 観光資源の磨き上げによる賑わい創出

- ① 旅行者にとって魅力ある歴史的建築物の活用促進
- ② 商店街の空き店舗等を活用した交流人口の拡大
- ③ 文化芸術の集積を活かす環境整備の促進

(3) 公的インフラ・施設を活用した観光拠点の整備

- ① 水辺空間の賑わい創出と舟運の活性化
- ② 都市公園・海上公園を活用した都市の魅力向上

(4) スポーツ・文化芸術・食文化に着目した観光資源の活用

(5) 地域の観光関連団体の連携・活動強化

- ① 観光地域経営を推進するための継続的な支援
- ② 地域限定旅行業への参入促進によるコンシェルジュ機能拡大

3. 魅力の発信・効果的な誘致活動の展開

訪日外国人旅行者の安定確保・リピーターの拡大に向けては、観光都市・東京の魅力を海外に広く発信し、欧米豪など多様な国からの誘客を進めていくことが必要。また長期滞在に向けて広域連携を強化し、観光振興の効果を全国各地に波及させることも重要

(1) 多様な国・地域からの誘客に向けた観光プロモーションの展開

- ① 欧米豪など観光先進国からの誘客促進
- ② 大都市と地方が連携した外国人旅行者誘致の取組促進

(2) ビジネス需要の拡大と地域活性化に向けたMICEの促進

- ・官民連携による支援体制の整備
- ・MICE施設の受入環境整備
- ・ユニークメニューの充実

(3) 長期滞在の促進に向けた日本各地の連携強化

- ① 広域観光周遊ルートの世界水準への改善
- ② 大都市と地方の地域間連携の促進
- ③ 東北・九州の観光復興

4. すべての旅行者に快適な受入環境の整備

- 観光インフラの供給能力不足が外国人旅行者の訪都の制約要因とならないように、また国内の居住者・旅行者の不満解消のためにも、受入環境整備を加速させるべき
- 旅行者の安心・安全の確保は、観光振興の前提であり、自然災害発生時等における危機管理体制の強化、すべての旅行者が快適に旅行を楽しめる環境整備が急務

(1) 旅行者の急増に対応する供給能力の拡大

- ① 首都圏空港・東京港の機能強化
 - ・空港容量の拡大
 - ・大型クルーズ客船ふ頭の整備推進
- ② 貸切バスの需給逼迫への対応と路上混雑の解消

(2) 外国人旅行者の利便性向上

- ① 通信環境の整備
 - ・利便性の高い無料Wi-Fiの整備
 - ・維持管理への支援
- ② 多言語対応による観光案内態勢の充実
- ③ 公共交通機関等の共通バスの活用
 - ・交通機関や文化・観光施設等での共通バスの導入
- ④ 多様な文化・習慣への対応

(3) 旅行者・生活者双方の安心・安全の確保

- ① 観光危機管理体制の強化と外国人患者受入体制の充実
- ② 安全確保と品質向上に向けたツアーオペレーターの適正管理
- ③ アクセシブル・ツーリズムの充実
- ④ 安全・安心のまちづくりの推進
- ⑤ 訪日外国人観光客に対するマナー啓発